



みんながつながり 夢を育てる学校に

国立二小だより

平成30年4月6日
国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人

明るいあいさつとあたたかい言葉が響き合う学校に

校長 小林 理人

今年は桜の開花が早く、二小桜の主演は八重桜になりました。入学、進級を祝う白やピンクの八重桜に迎えられ、新入生48名を加えた全校児童376名で、開校から68年目の教育活動が始まりました。

本日行われた入学式で、児童代表の6年生が、1年生を迎える言葉の中で、1年生にがんばってほしいこととして次のように話しました。

「私は、毎日『明るいあいさつ』をすることと、周りの人に『あたたかい言葉』をかけることができれば、さらにたくさんの友達ができ、より絆を深めることができると思います。皆さんも是非取り組んでみてください。」

『明るいあいさつ』と『あたたかい言葉』は、3月に行われた6年生を送る会で卒業生が在校生に託した言葉です。昨年度、みんなの目標とした「笑顔」を更に増やすための具体的な方法を示してくれました。

国立二小は、子供たちが理想とする学校の姿や、それを実現する方法を考え、実行する「子供が主演」の学校です。高学年の子供たちが低学年の児童の憧れとして、お手本を示したり目標となる姿を見せたりしながら、共に育ち合う素敵な学校です。そして、私たち教職員は、子供たちの思いや願いを大切に、それを実現させるために必要な力を育てたり、実現した喜びを味わわせたりしていきます。また、それが裏面に示した教育目標の達成や目指す学校の実現にもつながると考えています。

今年度は、卒業生が在校生に託した「明るいあいさつ」「温かい言葉」が響き合う学校を、子供たちとともに目指していきます。

4月のテーマは「希望」

1年間のスタートである4月は、大きな環境の変化に慣れるまで、子供たちは不安などを感じたりすることがあるかもしれません。しかし、新しい環境や新しく学ぶ内容や方法などからめあてを決めたり、1年間の活動に見通しをもったりすることで、不安や戸惑いがなくなり、「希望」がもてるようになります。そして、その「希望」が成長、飛躍に向けての大きなエネルギーとなります。

そこで、4月は子供たちが自分のよさや得意なこと、がんばりたいことに目を向けて、個々の学習や生活の向上につながるめあてがもてるよう、丁寧に指導していきます。



平成30年度 教育目標

私たちは、一人一人の子供たちのよさや可能性を生かし、他者と協働しながら豊かな人生を切り拓く資質・能力を育てるために以下の学校教育目標を掲げ、「知」「徳」「体」の調和のとれた教育を目指します。

知	かしこく	進んで学ぶ子	よく考え表現する子	平成30年度 重点目標
徳	あたたかく	仲間と共に成長する子	全ての命を大切にする子	
体	つよく	健康でたくましい子	目標をもってやりぬく子	

新しい学習指導要領に示された未来を拓き、未来に生きるために必要な力を身に付ける教育活動の充実を目指し、「**かしこく 進んで学ぶ子 よく考え表現する子**」を平成30年度の重点目標とし、指導の重点化、焦点化を図ります。

私たちが目指す学校

全ての子供の **夢**を育てる学校

子供の**主体性**を育てる **子供が主役**の学校

みんながつながる **「チーム学校」**

学校は地域や保護者の期待に応え、子供たち一人一人の生きる目標や指針となる「**夢**」を育てます。特に、社会生活の基盤をつくる小学校では、「よさ」「可能性」を見つけ、未来に向かうエネルギーとなる「**夢**」につながる「自己肯定感」を大切にします。そして、よりよい学校にするために、子供たちが学校生活に主体的にかかわる「**子供が主役の学校**」として、未来を切り拓くために必要な力や、共生社会で気持ちよく生活する上で必要な温かく豊かな心を育てます。

また、子供たちの成長を願い、学校の教育活動を支える地域、保護者の**人のつながり、活動のつながり**を大切にした「**チーム学校**」として子供たちの活動を支援します。